

(施策評価表23)

【施策番号 I-3-②-4】

取組みの 方向性	活力を創る	戦 略	【戦略3】地域力を高める ～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～	主な施策	◆情報通信技術を活用する ～情報通信技術(ICT)を活用した地域活性化～
			②地域の現状やニーズを踏まえた地域振興		

1 取組内容	2 主な事業 〔上段:H25事業 下段:H24事業〕	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
・市町村や関係団体、情報通信会社等と連携し、地域活性化や観光、教育、医療など地域における様々な課題を、最新の情報通信技術(ICT)を活用して解決していく「スマートひかりタウン熊本」を展開します。	スマートひかりタウン熊本推進事業	情報企画課	15,198 5,783	・スマートひかりタウン熊本の推進に向け、次の取組みを進めた。 ①空港利用者の利便性向上のため、H24年8月に、阿蘇くまもと空港到着口、JR肥後大津駅隣接の大津町ビジターセンターに交通情報等を表示するデジタルサイネージ(電子掲示板)を設置し、交通情報や観光情報を提供することで空港利用者の利便性向上に繋がった。 ②健康増進プログラムと歩数計、血圧計、体組成計のデータを組み合わせた健康づくりモデル事業を3カ所(熊本市、山鹿市、合志市)で実施し、60名の参加が得られた。 ③小中学生を対象としたe-ラーニングを活用した学習機会創出モデル事業を南関町で実施し、20名の参加が得られた。 ④NTT西日本との包括連携協定に基づき、小ロット農産物の流通の効果的、効率的なICTシステム構築に向けて、プロジェクトチームを設置し、連携体制が整った。	・スマートひかりタウン熊本を推進し、中山間地域等における学習機会の創出や、NTT西日本との包括連携協定に基づく「交通・観光・空港・中心市街地活性化」、「高齢者対策・健康づくり」等のテーマに関するICTを活用した取組みを進める。また、スマートひかりタウン熊本の有力なインフラ基盤となる公共施設の公衆無線LANの整備を進める。 ・NTTと連携し、スマートひかりタウン(中山間地農業の活性化)プロジェクトチームでICT活用の事例調査及び今後の展開について検討する。	・地域におけるICT利活用ニーズの把握やICT利活用モデルの県内各地域への普及を進めていく必要がある。	・事業者等と連携し、ICTを利活用しながら地域のさまざまな課題に迅速かつ適切に対応し、地域社会の活性化及び住民サービスの向上を図ることにより、魅力あふれ、暮らしやすさと幸せが実感できる熊本の実現をめざす。
	主な施策のまとめ				●空港利用者の利便性向上のため、H24年8月に、阿蘇くまもと空港到着口、JR肥後大津駅隣接の大津町ビジターセンターに交通情報等を表示するデジタルサイネージ(電子掲示板)を設置し、交通情報や観光情報を提供することで空港利用者の利便性が向上。 ●健康増進プログラムと歩数計、血圧計、体組成計のデータを組み合わせた健康づくりモデル事業を熊本市、山鹿市、合志市で実施し、60名参加。	●スマートひかりタウン熊本を推進し、中山間地域等における学習機会の創出や、NTT西日本との包括連携協定に基づく「交通・観光・空港・中心市街地活性化」、「高齢者対策・健康づくり」等のテーマに関するICTを利活用した取組みを推進。	●地域におけるICT利活用ニーズの把握やICT利活用モデルの県内各地域への普及・推進。